

学習アウトカム	科目達成レベル (チーム医療Ⅳ (IPEⅣ))
<b>Ⅰ. 倫理観とプロフェッショナリズム</b>	
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。	
2 倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 1) 患者・サービス利用者の診療・ケア計画を倫理的原則に基づいて作成できる。	B 模擬診療を実施できることが単位認定の要件である
4 個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 1) 患者・サービス利用者に共感的に接し、意志を尊重できる。	
5 チームの目標を達成するために、リーダーシップやフォロワーシップを発揮して、多職種連携を実践できる。 1) 患者・サービス利用者への全人的評価に基づいた退院計画を、チームとして立案できる。 2) 退院計画をわかりやすく説明でき、患者とディスカッションできる。 3) チームメンバーの専門性の特徴や限界に基づいてチームメンバーと協力できる。 4) チームメンバー及びかかわる多様な専門職と、良好な人間関係のもと、話しやすい雰囲気を作ることができる。	
6 常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態（ウェルビーイング）を保つことができる。 1) チームの目標達成のために、チーム状況を評価し、自己の実践を決定できる。 2) チームメンバーの専門性の特徴や限界に基づいてチームメンバーと協力できる。 3) 自己の態度や行動についてのリフレクションができる。	
7 他者に対して指導や支援を求めることができ、自らも指導や支援をすることができる。 1) グループのメンバーの態度や行動についてのフィードバックができる。	
8 自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 1) 専門職及び教員の支援を受けて、最新の専門知識を退院計画に反映できる。 2) 自職種の専門的知識や技術を用いてできることの範囲及び課題を学生の立場から説明できる。	

学習アウトカム		科目達成レベル (チーム医療Ⅳ (IPEⅣ))	
<b>Ⅱ. コミュニケーション</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。			
1	個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態度を示し、信頼関係を築くことができる。 1) 患者・サービス利用者の多様性を尊重し、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 2) チームメンバー及びかかわる多様な専門職の専門性を尊重したコミュニケーションを実施できる。	B	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である
2	他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。 1) 患者・サービス利用者と、良好な人間関係のもと、話しやすい雰囲気を作ることができる。 2) チームメンバー及びかかわる多様な専門職と、良好な人間関係のもと、話しやすい雰囲気を作ることができる。		
<b>Ⅳ. 診療の実践</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
1	医療面接を実施できる。 1) 患者・サービス利用者の病歴、心理・社会的背景を聴取できる。	B	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である  基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
7	治療計画を提案できる。 1) 患者・サービス利用者の疾病を理解し、適切な診療・ケア計画を立案できる。		
8	医療文書を作成できる。 1) 患者・サービス利用者に対する説明文書を適切に作成し、説明できる。 2) 文書を適切に作成し、遅滞なく提出できる。 3) 学習成果を適切にまとめ、発表できる。	C	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である
10	Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。 1) 診療ガイドライン、文献等を適切に活用し、診療・ケア計画を立案できる。		
11	Shared decision making (SDM) を実践できる。 1) 患者・サービス利用者に対する診療・ケア計画を適切に説明できる。		

学習アウトカム		科目達成レベル (チーム医療Ⅳ (IPEⅣ))	
<b>V. 社会と医療</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 個人と社会のつながりを理解し、社会と医療の発展のために、以下のことができる。			
2	保健・医療・福祉に必要な資源を活用し、連携・協働ができる。1) 様々な専門職種と保健・医療・福祉に関わる施設を理解し、それらを利用した診療・ケア計画を立案できる。	B	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である
3	患者・生活者の疾病予防・健康増進の活動を支援できる。 1) 患者・サービス利用者の疾病、心理・社会的背景を全人的に評価し、地域の資源を適切に利用した診療・ケア計画を立案できる。		
4	個人の多様性を受容し、活躍することを支援できる。 1) 退院後の生活も視野に入れた診療・ケア計画を立案できる。		基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である。
6	広い視野から保健・医療・福祉の課題の改善に努めることができる。 1) 作成した診療・ケア計画について、患者・サービス利用者、各種専門職、学生からのフィードバックに基づきさらに改善することができる。		